

野田の平和を擾乱するもの附録

野田に於て労資の間に争議が起る町野田全体の平和が破れたかに思ふが、今迄の野田の多量の町民諸氏であつた。そしてその平和の攪乱者は労働組合であるが様に考ふる者さへあつたが、事實はさうではなくて、労資の争議が解決すれば一時動搖した町の空気が自然と落ちついて何事もなく過ぎ去る行つた後になるとは誰も何も思はなかつた。然るに今度の争議に就しては正義國と云ふ厄いかなる会社の御用團體が出来た為めに今迄とは全く違つた空気が野田町全体を包んで非常な厄い／＼しい状態を生れ出でつゝ、あり、彼の理髪組合の分裂、魚屋仲間コソ／＼、其他の高人にも、或者は会社側からホイコトマレ又或者は争議團からホイコトマレて途方に迷ふと云ふ具合に野田町の現在が実に暗黒と云ふべき混沌たる有様を置かれたのである。其の原因が何處にあるかと見ればそれは實に正義國が組織されたためである。それは度に高梨忠八郎以下正義國幹部の利己的狂奔の結果である事は明白なる事實である。而も此の混沌たる事態たるや今後正義國の存続するから、永遠にいつと事は何人も否定する事は出来まい、ア、我か老練ある丁次を有する野田町は我利く亡者の為めに其の平和を擾乱され其の永昼を汚すは野田町を後する者さ……

起つて正義國を倒せ、  
忠八郎以下の亡者を野田町より放逐せよ！  
されば野田町は再び元の平和に回復し、幸福なる輝にまたさし、てあらう……

十一月  
関東、職、造、労働、組合、野田支部